

令和6年度外部評価報告書

令和 8(2026)年 3 月
十文字学園女子大学

はじめに

十文字学園女子大学では、中期目標・中期計画及び年度計画を策定し、これを自己点検・評価の基準として、毎年自己点検・評価を行うこととしています。この点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、大学評価ならびに高等教育の在り方について高い見識をお持ちの産官民学各分野の有識者に外部評価委員へご就任いただき、本学の教育研究及び社会貢献活動全般への助言をいただいています。

令和7年度は、学内体制の強化を図り、教職員が一丸となって同じ目線を持ち行動できる強固な組織づくりを行ってまいりました。

全国的に、他の女子大学での共学化、あるいは募集停止に至った判断が報道される中、女子大学を巡る状況が厳しいものと受け止められ、一層逆境の時を迎えております。本学は、さらに時代に即した大学として人材育成に取り組んでまいります。

そのため令和9(2027)年度に向けて、大学全体で進化(アップグレード)するために、第4次教育体制改革として、全学的な教育改革プログラムの実施(十文字独自のライフサポートプログラム「ことサポ」の導入、「実践志向」の教育への展開、副専攻制度とプラスキャンパス・プロジェクトの設置・拠点整備等)、一部学部学科構成の変更(教育人文学部から、教育学部、心理学部、文学部への分割)を予定しています。本学の教育ビジョンである「学生が自ら学び、成長し、社会で活躍できる女性へと歩むことを支える女子大学」、「地域社会と共に歩み、地域にとってなくてはならない女子大学」の実現に向け、教職員一丸となって取り組んでまいります。

外部評価委員のみなさまからいただいた貴重なご意見・ご助言は、本学の基本理念や使命・目的の更なる実現に向け、今後の教育研究等の改善に役立てる所存です。

ご多用にもかかわらず、本学のために労をいとわずご協力いただいた外部評価委員各位に心より感謝申し上げます。外部評価委員のみなさまをはじめ関係の方々には、今後とも本学の運営にご助力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年3月

十文字学園女子大学
学長 安達 一寿

目 次

I 外部評価委員名簿

II 外部評価委員会による評価

III 参考資料

1. 外部評価委員会規程

2 外部評価委員会議事概要

①第 23 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要

②第 24 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要

I 外部評価委員名簿

【令和6・7年度】

氏名	職名
イワナガ マサヤ 岩永 雅也	放送大学 学長
オオツカ ユウサク 大塚 雄作	京都大学名誉教授、大学入試センター名誉教授
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長
イケダ ジュン 池田 純	ソーダニッカ株式会社 顧問
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 名誉教授 ◎
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社 代表取締役社長

※50音順

※◎は座長

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、令和6年4月に委員委嘱を行った。

※職名は令和7年度のもの

Ⅱ 外部評価委員会による評価

(1) 総括

私立女子大学は厳しい運営環境に置かれており、十文字女子学園も例外ではないが、その中でも堅実な運営がなされていると評価する。しかしながら、入学定員充足の面ではさらに取り組みを充実させることが望ましい。

(2) 優れた点及び今後期待する事項

- ・手厚い対応による学生満足度の高さは評価できる。今後はそれぞれの取組の進捗を見ながら充実させていきたい。
- ・全体的に就職率が高く、全学年を通したキャリア教育プログラム、個別支援体制の成果と考えられる。さらに従来から一定の評価がある学生の「人間力」をアピールする組織的な対応を充実させるなどで、就職に強い大学のイメージを強調していくことができるのではないかと。
- ・副学長を複数配置することで担当内容ごとに施策が充実しているなど、強力な組織運営となっている。
- ・地域との連携による商品開発など、実践的、体験的な学びの取組は評価できる。今後は知財研修なども引き続き実施し、産学連携が活性化することを期待する。
- ・民間企業との共同研究などにもさらなる工夫があるとよい。
- ・地域全体を盛り上げる魅力的なイベントなどを期待したい。
- ・広報の充実を以前からの課題として提言してきたが、体制の整備が整ってきた。今後さらに継続して効果的な発信を行い、入学者としての実績につながることを期待する。
- ・柔軟な入試制度の導入には一定程度の効果を認めることができる。今後も入試・募集施策には一層の工夫や努力を期待する。
- ・オンデマンド、オンライン等で実施する授業など、先進的な取組の実施に期待する。

(3) 参考意見

- ・広報活動は今後も積極的な取り組みを必要とする一方、SNS を利用した広報や学生主体の発信はリスク管理との両立が課題となる。学外者の専門家を活用するなど、効果的な手法を取り入れ一層の注力がなされることを期待する。また学内のインナーブランディングも重要である。
- ・学生募集は引き続き不本意な結果となっていることから、戦略的に情報発信を行うなど、入学者確保にあたっていただきたい。
- ・在学生、卒業生を対象とした継続的な調査を行い、結果を全学で共有したうえで活用していることは評価できる。今後は他大学との比較が可能な指標により分析を行うなど、競合との位置を把握する方法を検討していただきたい。
- ・大学への愛着の基礎となる学生同士のネットワークをさらに構築できるとよい。

Ⅲ 参考資料

1. 外部評価委員会規程

十文字学園女子大学外部評価委員会規程

平成25年9月18日規程第138号

平成25年9月18日制定

平成31年4月1日最終改正

(設置)

第1条 十文字学園女子大学（以下「本学」という）に、十文字学園女子大学大学評価規程第3条第一項第三号及び第10条に定める外部評価を実施する機関として、十文字学園女子大学外部評価委員会（以下「委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学が実施した自己点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、学外者による検証及び評価を行う他、教員評価や教育研究及び社会貢献活動全般への助言を行う。

(組織)

第3条 委員会は、若干名の委員をもって組織する。

2 委員は本学の設置目的について理解のある学外の学識経験者等から、学長が選考し、委嘱する。

3 学長は、委員を委嘱した場合、委員の氏名・職名等を、速やかに自己点検・評価委員会に通知するとともに、公表する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(外部評価の実施)

第5条 委員は、本学が実施した自己点検・評価の結果を第2条の規定により検証し、優れた点及び改善を要する事項等を意見して、評価を付す。

2 事務局は、前項に定める委員の意見及び評価を外部評価報告書にまとめ、委員会の了承を得なければならない。

3 学長は、前項に定める委員会の了承後、外部評価報告書を自己点検・評価委員会に報告する。

(事務)

第6条 委員会の事務は、企画評価部企画評価課が行う。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

2 各部局が実施した自己点検・評価の結果についての外部評価は、この規程を準用し、部局毎に行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、自己点検・評価委員会の議を経て、教授会に報告しなければならない。

附則

1 この規程は、平成25年9月18日より施行する。

2 第4条の規定にかかわらず、この規程の施行後、最初に委嘱される委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

附則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2. 外部評価委員会議事概要

①第 23 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要

日 時：令和 6 年 3 月 15 日（水）14:00～16:25

場 所：7 号館 6 階会議室および Zoom ウェビナーでの開催

出席者：58 名

<外部評価委員> 田中委員（座長）、池田委員、岩永委員、大塚委員、金子委員、萩野委員

<法 人> 岡本法人本部長

<大 学> 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、安達教育担当副学長、
本間事務局長、荒川事務局長補佐、井上企画評価部長（司会）、
樫本企画評価部次長、瀬川企画評価課長、遠藤企画評価課員

<陪 席 者> 副学長、学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長 他

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

1. 第 22 回外部評価委員会議事要旨(案)について

田中座長から第 22 回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があり、全員異議なく承認された。

2. 令和 5 年度外部評価報告書（案）について

田中座長から令和 5 年度外部評価報告書（案）について確認があった。岩永委員から語句の修正が提案され、承認された。

3. 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度の自己点検について

安達副学長から、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度の自己点検について説明があった。続けて、意見交換を行った。

4. 学生アンケートについて

綿井副学長から学生アンケートの方法と結果について説明があった。続けて、意見交換を行った。

岡本本部長から 3 月 31 日付で志村学長の任期が満了すること、安達副学長の学長就任が決まったことについて報告があり、志村学長から退任の挨拶があった。最後に事務局から次回の委員会についての事務連絡があり、閉会となった。

以上

②第 24 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要

日 時：令和 7 年 8 月 25 日（月）14:00～16:30

場 所：7 号館 6 階会議室および Zoom ウェビナーでの開催

出席者：51 名

<外部評価委員> 田中委員（座長）、池田委員、岩永委員、大塚委員、金子委員、萩野委員

<法 人> 十文字理事長、岡本法人本部長

<大 学> 安達学長、綿井副学長兼学長補佐、狩野教育担当副学長、竹之内社会情報デザイン学科特任教授、荒川事務局長兼企画評価部長（司会）、井上事務顧問 [企画]、
檜本企画評価部次長、瀬川企画評価課長、遠藤企画評価課員、久保企画評価員、
戸塚学術情報部長

<陪 席 者> 副学長、学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長 他

（以下、敬称略）

冒頭、十文字佑子理事長から挨拶があり、安達学長より開会の挨拶があった。

また、本会議の座長を田中委員とし、議事進行を担当願うこととした。

1. 第 23 回外部評価委員会議事要旨（案）について

議長から第 23 回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があり、全員異議なく承認された。

2. 令和 6 年度 自己点検・評価報告書（案）について

綿井副学長から令和 6 年度自己点検・評価報告書（案）について説明があった。続けて、意見交換を行った。

3. 共通科目「英語コミュニケーション演習」について

竹之内社会情報デザイン学科特任教授から、共通科目「英語コミュニケーション演習」の教育活動等の状況について説明があった。続けて、意見交換を行った。

岡本法人本部長から閉会の挨拶があり、最後に事務局から次回の委員会についての事務連絡があり、閉会となった。

以上